

演劇人のための

ロシア・戯曲ワークショップ

— 演劇教育発祥の地から『三人姉妹』を巡る一週間

- ◎戯曲をどう読み解くのか？
- ◎戯曲への新しいアプローチのためには？
- ◎チェーホフは何を書いたのか？

ヨーロッパ、特にロシアでは、新しい戯曲以上に古典を演出することで演出力を試される。
そこには演劇を作るための基本があるからだ。
基本なくして応用なし。
現在も刻々と進化し続けるスタニスラフスキー・システムを基本として
新たな「読み解き」を体感する、演劇人のための5日間！



国際演劇交流セミナー2012「ロシア特集」2012年 **8月22日(水) → 26日(日)**

ワークショップ

8月22日(水)～24日(金) 18:30～21:30
25日(土) 13:00～21:00
26日(日) 13:00～18:00

《参加費》各団体5000円 通訳：安達紀子

レクチャー+シンポジウム


「ロシア演出家教育の今」

パネラー：ミハイル・アリ=フセイン / 菊川徳之助 / 島守辰明 他

8月26日(日) 19:00～21:00

《参加費》500円 (ワークショップ参加者、協会員は無料) 通訳：安達紀子

会場

 **大手前大学**

さくら夙川キャンパス内
CELL(セル)フォーラム

兵庫県西宮市御茶家所町6-42
TEL 0798-34-6331(代)

◎JRさくら夙川駅から徒歩7分

◎阪急夙川駅から徒歩7分

◎阪神香櫨園駅から徒歩7分



文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
【主催】文化庁 / 日本演出者協会 【制作】日本演出者協会 【協力】大手前大学

